

# 社会科学習指導案（地理的分野）

学 級：1年2組 31人

場 所：1年2組 教室

指導者：教諭 岩下 彩美

## 1 単元名 世界の諸地域

教材名 アフリカ州 特定の生産品にたよる生活からの変化

## 2 単元で育成する資質・能力

本単元では、各州の地域的特色を大観でき、なおかつその地域で特徴的に見られる地球的課題と関連付けられるような主題を設定し、課題を追究したり解決したりすることを目指す。そして、課題解決的な学習を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な、公民としての資質・能力を育成したい。本教材の「アフリカ州」では、紛争や産業、教育、医療・衛生、砂漠化といった課題が、貧困問題と結び付いている。これらの課題の背景には、ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史や、先進工業国からの技術や資金の援助等が関連している。

そこで、アフリカ州の貧困問題の原因と解決策について、単元を通して学習したアフリカ州の産業、医療・衛生、自然環境と関連付けて多面的・多角的に考察させることで、地球的課題やアフリカ州の特色についての理解を深めさせたい。また、これらの活動を通して、地球的課題と身近な生活に関連付けて、国際社会に生きる一員として課題解決に取り組む意欲をもたせたい。

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることについて理解している。	① アフリカ州において見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	① アフリカ州において見られる地球的課題の解決策について、主体的に追究しようとしている。
② アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州の地域的特色を大観し、知識を身に付けている。		

#### 4 指導と評価の計画

時間	学 習 活 動	必要性	自律性	関係性	有用性	評価方法
1	<p>1 リフレクションシートに自分が知っている発展途上国についてまとめ、単元を通したテーマをまとめる。</p> <p>2 アフリカ州の国々の主な言語や公用語、国境の特色について地図帳で調べ、歴史的背景と関連付けて考察し、ワークシートにまとめる。</p>	○	○			<p>主①:リフレクションシート</p> <p>思①:ワークシート</p>
2	<p>1 ワールドハンガーマップと気候帯、紛争地域、農業の分布図を比較し、飢餓が深刻な地域の特色について読み取り、ワークシートにまとめる。</p> <p>2 アフリカ州の平均寿命が短い理由について、飢餓が深刻な地域の特色や、衛生環境や病床数がわかる資料を関連付けて考察し、ワークシートにまとめる。</p>		○	○		<p>知②:確認テスト</p> <p>思①:ワークシート</p>
3	<p>1 アフリカ州の主な輸出品目から、モノカルチャー経済であることや、工業化が遅れていることを読み取る。</p> <p>2 アフリカ州の GDP が低い理由について、モノカルチャー経済の課題や工業化の遅れを関連付けて考察し、ワークシートにまとめる。</p>		○		○	<p>知①:確認テスト</p> <p>思①:ワークシート</p>
4	<p>1 アフリカ州の貧困問題の原因について、産業、医療・衛生、自然環境の特色と関連付けて考察し、ワークシートにまとめる。</p> <p>2 貧困問題の解決策について、グループごとに話し合う。</p>	◎			○	<p>思①:ワークシート</p> <p>主①:リフレクションシート</p>

## 5 本時の実際（4/4）

### (1) 学習目標

- アフリカ州における貧困問題の原因について、アフリカ州の産業、医療・衛生、自然環境と関連付けて考察する。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- アフリカ州における貧困問題の解決策について、意欲的に追究する。

「学びに向かう力、人間性等」

### (2) 研究の取組

#### ア 資料提示や「問い」の設定【必要性】

- (ア) 学習への追究意欲を喚起させる資料の設定
- (イ) 日常生活に関連付けさせるための「問い」の設定

#### 【本時における問い】

- ① アフリカ州は今後どのように発展すべきなのだろう。（学習課題）
- ② 今、アフリカに最も必要な支援や取組は何だろう。（新たな問い）

#### イ 日常生活における疑問や新たな発見につなげる場の設定【有用性】

- (ア) 社会的事象に対する疑問や社会との関わり方について話し合う場の設定
- (イ) 自己の変容に気付かせる工夫

(4) 展開

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	研究の取組
導入	4分	一斉	1 資料を基に、アフリカ州の課題を捉える。	1 資料を提示し、アフリカ州の課題に興味をもたせる。	<b>必要性</b> アー(ア) 学習への追究意欲を喚起させる資料により、課題意識をもたせる。
	2分	一斉	2 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アフリカ州はどのように発展すべきなのだろう。</div>	2 生徒への助言を行う。	
展開	8分	個別	3 資料を基に、アフリカ州の課題について考察する。	3 リフレクションシートを参考にし、見通しをもたせる。	<b>有用性</b> イー(ア) 生徒同士で対話的に問題解決していく。
	15分	グループ	4 貧困問題の解決策を話し合う。	4 既習事項と資料を関連付けて考えさせる。	
	6分	一斉	5 実際の取組について確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">【新たな問い】貧困問題を解決するために、最も大切なことは何だろう。</div>	5 グループごとに考えた解決策を自助と共助の視点から整理させる。	
終末	7分	ペア	6 アフリカ州の人々にとって最も重要なことは何か考える。	6 自助と共助の両方の取組が大切であることに気付かせる。	<b>必要性</b> アー(イ) 資料をもとに価値や思考の再構築を図らせる。
	5分	個・ペア	7 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アフリカ州は、先進国から支援されるばかりではなく、自立に向けた取組も進めるべきである。</div>	7 リフレクションシートにまとめを記入させる。	
	3分	個・一斉	8 日本の中に貧困問題はないのか考える。	8 アフリカ州と自分たちとの生活のつながりに気付かせる。	<b>必要性</b> イー(イ) 社会とのつながりを考えさせる。

【参考資料】

- ・ 中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年告示 文部科学省
- ・ ニューススタイルビジュアル地理 世界・日本 どうほう
- ・ グラフィックワイド 地理 世界・日本 どうほう